

■ 2026年度 入試問題分析シート ■

神戸大学

前期日程

科目	物 理
----	-----

総 括

難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

<総 論>

標準的な内容で物理の基礎学力を問う問題としては例年を踏襲している。しかし、複雑な計算が増えたことを考慮すると、やや難化したといえるだろう。

<特記事項・トピックス>

例年通り大問が3つであったが全体的に計算が複雑になった。昨年に引き続きグラフ描画問題が出題され、近年の傾向といえる。

<合格への学習対策>

標準的な問題の解法をしっかりとマスターしておいて、落ち着いて計算を処理できる時間を確保したい。いたずらに難問へのトライにこだわるのではなく、教科書や標準的な問題集などに掲載されている問題を丁寧に学習し、そこでなりたつ物理法則を理解し把握しておくことが大切である。

設問ごとの分析

問題番号	出題形式	範 囲	分野・テーマ	特徴(内容分析・解答上のポイント)	問題レベル
I	記述 グラフ	物理 物理基礎	運動量保存の法則、力学的エネルギー保存の法則、衝突、単振り子	問4では2回目の衝突がおこるタイミングを単振り子の周期の特徴から特定できたかどうか、2回目の衝突以後の運動の周期性を想像できたかどうかのカギであったと思われる。全体的に符号にも注意したい。	やや難
II	記述 グラフ	物理	コンデンサーを含む直流回路、電気振動	問2の計算が複雑で、これをうまくクリアできたかが鍵である。問3、問4は平易だが、コンデンサーに誘電体を入れたときに容量や電圧などにどのように影響するのかを判断できることも重要である。	やや難
III	記述	物理 物理基礎	状態方程式、ボイル・シャルルの法則、熱力学第1法則	熱力学は同じような式を頻繁に立てるため、それらの式どうしを混同してしまわないことなど整理が大切である。 文字の組み合わせで答えの書き方が2種類可能な設問もあった。	やや難

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易度を5段階【難・やや難・標準・やや易・易】で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。